

企画展「なごやを想う」展示紹介

中日新聞 令和4年（2022）10月6日（木）掲載

名古屋発展 足跡たどる

瑞穂区で企画展

明治から昭和にかけて、名古屋が発展した足跡を振り返る企画展「なごやを想う」が、瑞穂区汐路町三の名古屋女子大内にある越原記念館で開かれている。

館蔵の写真帳や錦絵、刊行物などの資料約百八十点



明治から昭和までの名古屋の発展ぶりを示す資料を並べた展示―瑞穂区汐路町3の越原記念館で

を展示。「愛知県写真帖」
「愛知県土木工事写真帖」
からは、名古屋港の開港、
豊田式織機株式会社トヨタ式織機株式会社の工場
操業などの写真を掲げ、近
代化の道のりを分かりやす
く紹介した。

文化、教育面の資料も多
数並べ、「東西に負けな
い、一流の劇場を」と誕生
した御園座や、市第一号の
公園として整備された鶴舞
公園などを取り上げた。

学芸員の鈴木孝子さんは
「明治期、名古屋は鉄道の
開通や名古屋港開港など、
志を持って大変革を成し遂
げた。戦争や災禍を乗り越
えてきた姿を見てほしい」
と話す。八日午後一時半か
ら展示解説がある。来年二
月十四日まで（原則土日祝
と学園休業日は休み）、入
場無料。